

勿凝学問 306

負担増のタイミングと社会保障の取り分

2010年5月19日

慶應義塾大学 商学部

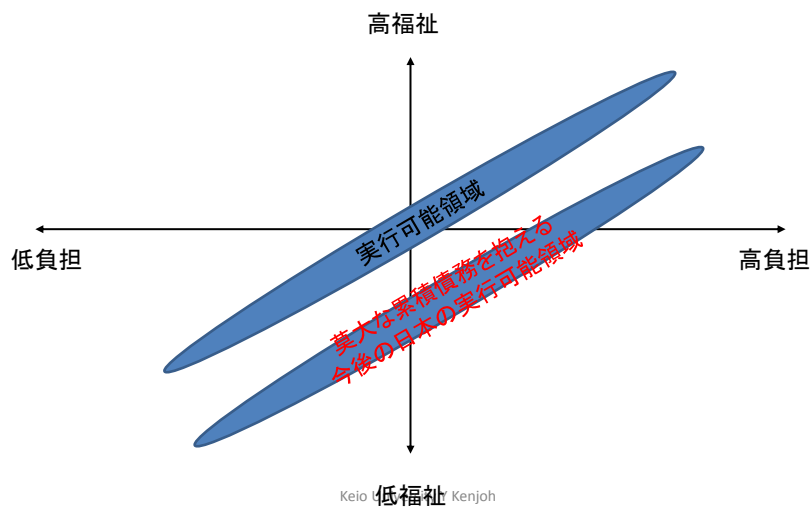
教授 権丈善一

昨日、「みんなの歯科」の代表、つまり僕の歯医者さんから、次の連絡が来る。

講演会でお使いになった、政党を、X軸、Y軸のグラフにおいて高負担高福祉、低負担低福祉などを見やすく示して頂いた、あのグラフを歯科医師の集まりで見せたのですが、

そこで、次のスライドを送る。

社会保障政策に関する 国民負担率決定論



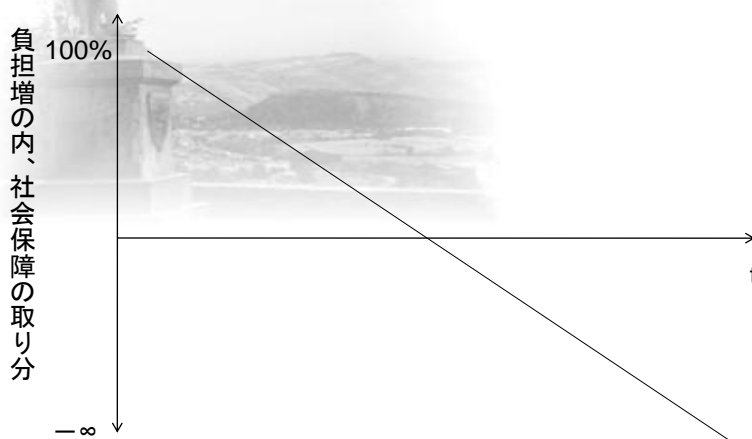
昔から言っていることは、いろんな政党が本当は何を実現してくれるのかを見分けるには、まず財源調達側面をみるべし、つまり X 軸上の位置を一番最初に定めるべしということだったわけ。

と言っても、日本のように「莫大な累積債務を抱える国の今後の実行可能領域」は、高負担なら中福祉、中負担なら低福祉というように、負担水準よりも福祉水準が低くならざ

るを得ない。残念ながら、未来は過去から自由ではいられない。

そして、そのことを説明するために、次のようなスライドを使うこともある。

財政再建と社会保障機能強化



Keio University
Y Kenjoh

要するに、早いうちに負担増を行っておけば、負担増の内、社会保障の取り分は大きかったのであるが、負担増が先送り、先送りされてきたために、負担増の中から社会保障に回る分は減少してきている。そして、未だに負担増に反対する人たちがあまたいるが、その人たちの言うとおりに負担増を回避していると、いずれは、負担増と社会保障のカットが同時に到来する——今のギリシャのように、否、それ以上に。

なお、デフレは、負担増の中の社会保障の取り分にとって有利に働き、財政再建には不利に働く。とはいえ、デフレであるからといって、今の財政状況はこれ以上の財政悪化を容認することが難しいところまできている。今日のところは、これ以上、何も言わないでおく。

関連する文章

2010年4月16日のHPへの書き込み

- 目が覚めると卒業生からメールが
 - 権丈先生 おはようございます。今朝の日経で菅さんの振り付け役にされていましたね(笑) 小野先生や菅さんの持論で一くりにされていましたが、むしろ後に出てくるエコノミストの方が先生には近い気が...
- みたみた。今日は産業経済論で日吉。いま、電車の中。はじめて、立川から南武線というのを利用してみたから、座席をゲット(笑)。この日経のコラムは、まあ、振り付けは財務官

僚ではないという言葉があるから大目にみて、ギリギリCというところかな。でも、俺が、振り付けなんかするわけがない(笑)——それにだいたい、振り付けなんて言葉は失礼だと思し、あんまり品の良い言葉じゃないよな。与野党を問わず、そして与野党の支持団体を問わず、みんなが勝手に僕が書いたものを読んでいるだけだし、読者のみんなは自分なりに考え、自分の言葉で発言をしているよ——だから、多くの人の発言が、僕の論とは、いつもちょっとずれている(笑)。

- それに、先日の自民党「安心社会研究会」で話したことは、「社会保障我が儘主義の僕でさえ、一昨年の補正予算以降、特に、本年度の予算編成以降は、いかに「当面」といっても増税分をぜんぶ社会保障にくださいとは言えなくなってきた。さすがに、マーケットのパニッシュメントが怖い。その意味でも、消費税を上げて、増税分を全部年金に使いますなんて、普通に考えれば、怖くて言えないでしょうから、ああいうのは、もう終わったんじゃないですか」と話して——この話、菅さんにもした気がしないでもない……。

記者さん達は、次の文章なんかも読んでから、いろいろと書いた方がいいだろうね。今は、下記文章を書いた時以上に、財政は悪化していて、マーケットがその成行を睨んでいる。まあ、取材依頼を全部断っていて、僕の考えを正確に伝えていない僕にも悪いところがあるかもしれないんだけど、ご隠居生活ってのは、結構、捨てがたいんだなあ、これが——日経の記事では、小野さんにかかった内閣府参与が僕にまで続くようにも読み取れるけど、そんなことはないからな。俺はただのフリーの慶大商学部教授。これからもせつせと授業だよ。。。

- 勿凝学問 229 [日本の財政戦略に関する私見への覚書——先日の『週刊社会保障座談会』でいつのまにか抜け落ちていた一文](#)
 - 他に、もっと早い時期に負担増を実現していれば、社会保障の取り分がもっと多かったのにと書いた文章があったと思うんだけど、もうすぐ武蔵小杉なので、後でさがしてみるよ。とにかく、負担増の時期が遅くなれば遅くなるほど、社会保障の取り分は少なくなっていき、財政再建の取り分が増えていくことになる。結果、負担増の時期が遅れるほど、社会保障がもつ景気対策効果が小さくなっていき、マーケットからの圧力の下、デフレを脱却する策を打ち出し辛くなる。そしてこのまま負担増を先送りした暁には、最後は、負担増分はすべて財政再建に回されるとともに、社会保障の給付カットも同時進行だろうな。
- それにしても、消費税の上げ方について、経団連などの経済界と僕の考えがおそろしく近づいてきた。世の中、何がどうなるか、わからんもんだ。まあ、その使い方と社会保険料の取扱が決定的に違うけどね。